

都市再生整備計画事業 事後評価シート

富岡中央地区

平成30年3月

群馬県富岡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	群馬県	市町村名	富岡市	地区名	富岡中央地区		面積	76 ha
交付期間	平成27年度～平成29年度	事業評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	115.5百万円	国費率	0.4	

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名					
	基幹事業	提案事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
	当初計画から削除した事業	基幹事業	まちなか路面舗装					
		提案事業	事業効果分析					
	新たに追加した事業	基幹事業	駐車場舗装、及びまちなか情報板		駐車場舗装は、駐車場の雨水排水流末となる国道254号からのアクセス道路(整備中)の整備後に実施する予定のため。 また、まちなか情報板は、「地域資源を活用した観光地魅力創造事業」を活用してサイン設置事業を進めるため。		駐車場舗装:砂利敷きであるが現状も利用できることから影響なし まちなか情報板:今後の施工分を関連事業に位置付けることから影響なし	
		提案事業	-					
交付期間の変更	当初	平成27年度～平成29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-		
	変更	-						

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	従前値	目標値	モニタリング	評価値							
指標1	中心市街地への来街者数	人/年	1,798,894	H26	1,798,894	H29	●	1,053,766	△	あり なし ○	富岡製糸場の世界遺産登録後3年が経過し、地元住民も来街者へのおもてなしについて自発的な活動を行うようになってきた。 店先のおもてなし空間づくりへの参加(ワークショップ) 富岡製糸場の世界遺産登録後3年が経過し、地元住民の街への愛着心が強くなり、まちづくりへの意識が高まってきた。 花と緑による自主的なまちづくり活動(銀座通り) 空き家、空フロアを活かしたリノベーションスクールの実施	平成30年3月末
指標2	周辺住民への生活満足度調査	倍	1.0	H26	1.05	H29	●	1.05	○	あり なし	県及び市が実施している様々な事業の効果が発現していると思われる。	-

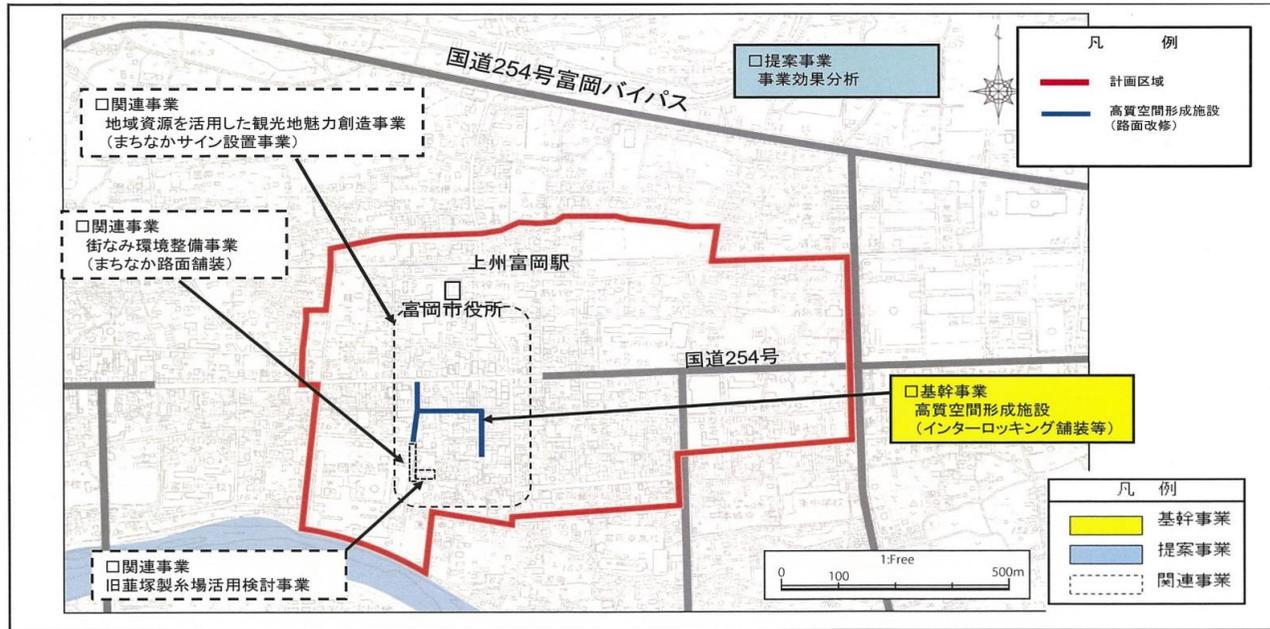
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	従前値	目標値	モニタリング	評価値							
その他の指標1	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 富岡製糸場の世界遺産登録後3年が経過し、地元住民も来街者へのおもてなしについて自発的な活動を行うようになってきた。 店先のおもてなし空間づくりへの参加(ワークショップ) 富岡製糸場の世界遺産登録後3年が経過し、地元住民の街への愛着心が強くなり、まちづくりへの意識が高まってきた。 花と緑による自主的なまちづくり活動(銀座通り) 空き家、空フロアを活かしたリノベーションスクールの実施
---------------	---

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等
	モニタリング	住民参加プロセス	持続的なまちづくり体制の構築	モニタリング	
	モニタリング	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	-
	住民参加プロセス	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	-
	持続的なまちづくり体制の構築	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	-

様式2-2 地区の概要

富岡中央地区（群馬県富岡市） まちづくり交付金の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：中心市街地の活性化と世界遺産・富岡製糸場のある街にふさわしいまちづくり	中心市街地への来街者数	単位：人／年	1,798,894	H26	1,798,894	H29	1,053,766	H29
小目標①：歴史的・文化遺産に集うにぎわいと歴史のあるまち並みづくり								
小目標②：製糸場周辺住民の生活に配慮したまちづくり	周辺住民への生活満足度調査	単位：倍	1.0	H26	1.05	H29	1.05	H29



基幹事業・市道6267号線まちなか路面舗装



基幹事業・市道6266号線まちなか路面舗装

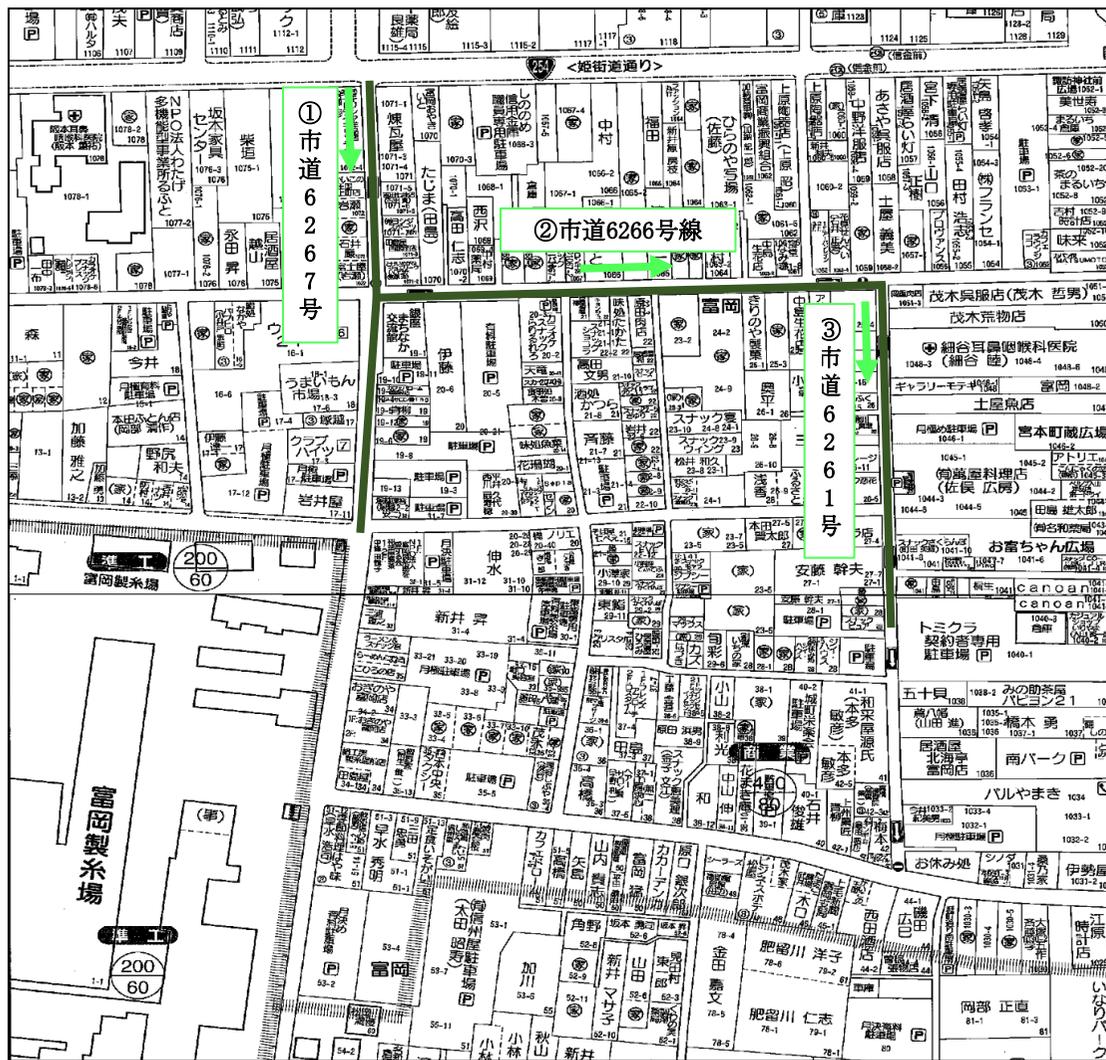


まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産登録後3年経過し、登録前よりは増加したが、年々減少している製糸場入場者の確保と、歴史的建造物の利活用等による来街者のまちなか滞在時間を増やしていくことが課題。 ・観光客中心の政策が多いと住民が感じているため、高齢化や空き家の増加への対策等、地元住民中心の政策を多くしていくことが課題。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<p>【中心市街地への来街者数の減少対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ等メディアでの露出が減少してきており、新たなコンテンツを情報提供する努力が必要。 ・富岡製糸場だけでなく絹産業遺産群である3施設(田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴)との連携を一層促進し、昨年「世界の記憶」に登録された「上野三碑」、来年度完成予定の「世界遺産センター(仮称)」とも連携し、製糸場入場者増とまちなか滞在時間増進に努めていく。 <p>【住民満足度を維持するための方策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多いので、生活やコミュニティの形成を維持するためには、近隣に歩いていけるスーパーや皆が集まって活動できる公園等が必要である。 ・歩車道共存型の道路整備、歩道への誘導・点字ブロック等設置、多言語仕様の案内標識設置等、障害者・外国人客も取り入れたまちづくりを進めることで、バリアフリーの社会を構築していく。 ・インフラ整備・防犯対策等住民生活の基盤を支える事業は住民からの評価が高いため、支援を続けていく。 ・住民からは観光客を対象とした事業ばかりではなく、地元を考えた事業を実施してもらいたいという意見があるので、引き続き意見交換しながら検討していく。

高質空間形成施設(まちなか路面舗装)完成状況

改修路面

路面改修完成写真



①市道6267号線



②市道6266号線



③市道6261号線

